

令和6年度東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会
作業技術研究会（冬期） 開催要領

東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会長
農研機構東北農業研究センター
水田輪作研究領域長 長谷川啓哉

1. 趣 旨

東北農業試験研究推進会議運営要領に基づき、東北地域農業に係わる作業技術分野の試験研究を適切かつ円滑に推進するため、農研機構東北農業研究センター及び公設試験研究機関等の関係者が参集し、現場段階での技術的課題等について議論するとともに、当該分野が重点的に取り組むべき研究開発とその推進方向について検討する。

各県においてもスマート農業に関するプロジェクトが実施され、スマート農機の現場での利用方法についてもノウハウが蓄積されつつある。『スマート農業技術活用促進法』が施行されたこともあり、本来の導入目的の一つであった省力化の観点からスマート農業技術を見直すことで、今後の展開方向を検討する。研究会では、現時点における各県の関連する研究事例、導入事例の情報を共有することで、どのように現場へ適用できるか、展開方向について議論を深める。

2. 開催日時 令和7年1月27日(月) 13:30～16:30
1月28日(火) 9:30～11:30

3. 開催場所 いわて県民情報交流センター（アイーナ） 研修室 812 号室
岩手県盛岡市盛岡駅前西通り 1 丁目 7 番 1 号

4. 議題

1月27日 13:30~16:30

1) 重点検討事項「スマ農プロ後のスマート技術と省力化」に関する話題提供

(1) 『スマート農業技術活用促進法』とスマート技術の普及に向けた方策(仮)

農林水産省 農林水産技術会議事務局 松尾 守展

(2) BASF のスマート農業技術の取組みについて(仮)

BASF ジャパン(株)アグロソリューション事業部/マーケティング部 関根 真樹

(3) 水稲作におけるスマート農業技術の導入と経営対応

農研機構 中日本農業研究センター 清水 ゆかり

(4) 各県および東北農研からの話題提供

(5) 総合討論

1月28日 9:30~11:30

2) 研究成果情報の検討・確認

3) 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ候補の選定

4) 現場段階での重要な技術的課題の提案と検討

5) 令和7年度作業技術研究会(夏期)についての意見交換

5. 参集範圍

国立研究開発法人試験研究機関および公設試験研究機関の関係者、農林水産省、県行政
部局・県普及部局の関係者、その他推進部会長が必要と認める者

6. 連絡先

事務局：農研機構東北農業研究センター 農業放射線研究センター 金井 源太
〒960-2156 福島県福島市荒井字原宿南 5 0
TEL:024-593-5151 (代表) E-mail:kanaigen@affrc.go.jp